

環境調査結果のお知らせ

令和2年7月22日10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

漁場環境は、水温が21.1～27.0℃、塩分が29.9～34.2、溶存酸素量が5.6～8.9mg/Lでした。透明度は3.5～4.0mで、有害種のカレニア・ミキモイ及びシャットネラ属が確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温は21.1～27.0℃、塩分は29.9～34.2でした。

前回調査時(R2.7.8)と比較して、水温は表層から5m層及び底層で0.2～2.7℃上昇し、10m層で0.1℃低下しました。塩分は表層で0.3上昇し、2m層から底層で0.3～1.4低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は5.6～8.9mg/Lでした。

前回調査時と比較して、溶存酸素量は表層から5m層及び底層で0.5～2.2mg/L増加しました。

プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は3.5～4.0mでした。

検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で1 cell/mL、シャットネラ属が最高で1 cell/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

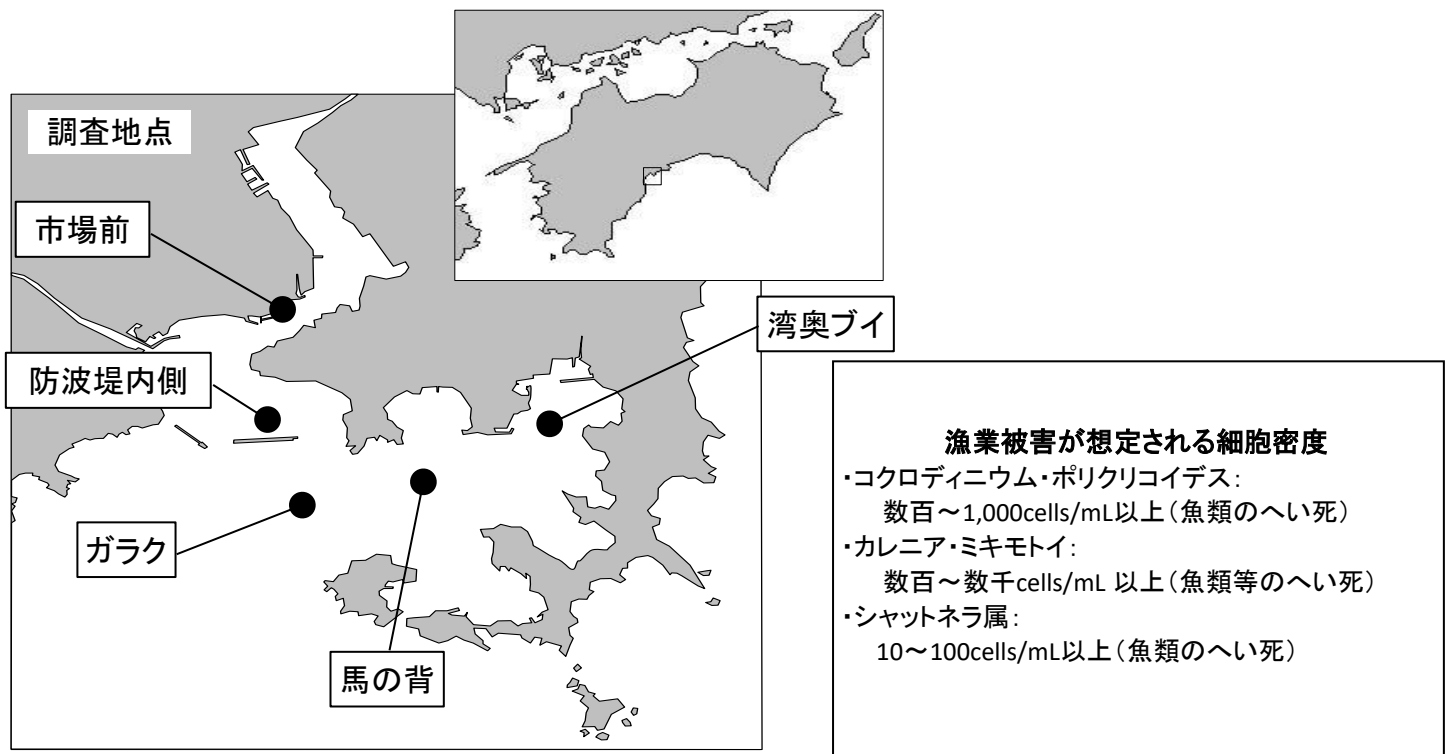


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R2.7.8)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	27.0	26.6	26.0	26.5	23.8	2.7	27.3	26.7
2m	26.2	25.6	25.1	25.6	23.4	2.2	25.5	25.5
5m	24.1	24.3	24.1	24.2	23.0	1.2	24.2	24.1
10m	22.7	22.3	22.4	22.5	22.6	▲ 0.1	22.5	-
B-1m	21.6	21.1	22.0	21.6	21.4	0.2	22.4	22.4

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R2.7.8)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	30.4	30.3	29.9	30.2	29.9	0.3	27.7	28.1
2m	30.7	31.0	31.0	30.9	32.3	▲ 1.4	30.8	30.9
5m	32.0	31.9	32.1	32.0	33.4	▲ 1.4	31.8	31.7
10m	33.3	33.6	33.6	33.5	33.8	▲ 0.3	33.5	-
B-1m	34.1	34.2	33.8	34.0	34.3	▲ 0.3	33.6	33.6

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R2.7.8)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	8.7	8.6	7.8	8.4	6.8	1.6	9.2	8.8
2m	8.9	8.5	7.4	8.3	6.1	2.2	8.6	8.3
5m	7.5	7.4	6.7	7.2	6.3	0.9	8.0	7.6
10m	5.6	6.1	7.1	6.3	6.3	0.0	6.2	-
B-1m	6.5	6.4	6.9	6.6	6.1	0.5	6.0	6.4

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.5	24.3	15.3	12.0	11.1
透明度	4.0	3.5	3.5	4.0	3.5
前回(7/8)	4.5	4.0	6.0	1.5	0.7

表5 プランクトン(cells/mL)

		コクロディニウム・ポリクリコイデス	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	0	720
	2m	0	0	0	920
	5m	0	0	1	660
馬の背	0m	0	0	0	2,320
	2m	0	0	0	1,420
	5m	0	1	0	2,100
ガラク	0m	0	0	0	2,080
	2m	0	0	1	1,520
	5m	0	0	0	1,820
津波防波堤内側	0m	0	0	0	2,220
	2m	0	0	0	1,800
	5m	0	0	0	1,160
市場前	0m	0	0	0	2,260
	2m	0	0	0	1,820
	5m	0	0	0	440